

2019年度第2回阿波おどり事業評価委員会議事録

開催時間 令和元年11月7日(木) 午後3時～

開催場所 徳島市中央公民館3階 302会議室

出席者 委員6名 事務局5名 事業体5名

1 開会

2 出席者紹介

3 議題① 検討事項と今後の方向性について

【事業体】

資料1：2019阿波おどり事業決算見込報告書

資料2：検討事項と今後の方向性

上記資料について説明

【委員長】

演舞場設置についての議論を進めて、ある程度方向性が見えてくればと思う。

藍場浜演舞場、元町演舞場と新町橋演舞場のレイアウトが変更になり、東新町おどりロードを新たに設置。また、市役所前演舞場の見直しとある。

基本的には藍場浜演舞場、元町演舞場、新町橋演舞場から議論に入りたいと思うが、市役所前演舞場も関わるのでこだわらずに提案についての意見をいただければと思う。

【A委員】

市役所前演舞場は廃止の方向で考えるべきである。ここ数年で見ても客の入りが悪く、昨年のプレミアムにしても客の入りが悪い。おどり広場や観光バスの乗降場所なりにするべきである。ただ、道が狭いので観光バスを一方通行にして対応すべきだと考える。

また、障害者の方が車イスで来られることも想定し、市役所の駐車場を障害者専用の車の駐車場にするのはどうか。

【委員長】

事業体から市役所前演舞場を継続する場合は無料演舞場へ変更という案が出ているが、今の意見のおどり広場というのはその案と同じと理解してよいのか。

【A委員】

市役所前演舞場は廃止ということを前提に話をしている。なぜ廃止かと言うと、赤字が出る演舞場を継続すれば赤字が膨れ上がる。5年後に現在の事業体が撤退した場合に、次

の事業体募集への応募がなくなる。10年後、20年後を見越した論議をしていくべきだと思う。

【B 委員】

そうすると、マリンピアなどからシャトルバスを配車しなくてもよくなるのではないか。

【A 委員】

現在、観光バスは吉野川河川敷に駐車している。バスの運転手からバスを停車する場所で非常に困っている、警察からも指導を受けたことがあると聞いたことがある。市役所前演舞場設置場所であれば、バスを停車できる容量がある。ただし、バスの出入りは一方通行にしなければ混雑の原因になる。

【D 委員】

市役所前演舞場の収支が悪いということで廃止するという議論が進んでいるが、前期の実績を確認したい。栈敷設置業務のコストが上がっているが、この理由について聞きたい。

【事業体】

業者から、今までは我慢していた、業態もシステムも変わったので値上げをという要望があった。せめて前年度同額という交渉もしたが、納得していただけない業者もいたので、その部分については多少の値上げを認めた。

【D 委員】

照明、電飾の設置業務についても同じなのか。

【事業体】

全てにおいてである。

【D 委員】

阿波踊りの運営業務は去年を踏襲されたということで、実体は変わっていないのに価格は上がったということか。

【事業体】

そう見られて結構である。

【D 委員】

どこにコストの妥当性があるのかが分からないということなのか。

【事業体】

我々が通常のコンサートを行う場合、図面を上げて、それぞれに仕様書、人件費等の明確な数字が見積書として出てくるが、阿波おどりについては、図面らしきものが一切ない。仕様書も全くない。例えば、栈敷の設置を1メートルずらすと木などがあり、あるはずの席がないという状況になる。これは既存の業者にしかできないのではないかという不安があったので、できる限り今年度については同一の業者の意見を聞きながら交渉してきたが、費用が上がってしまったというのが事実である。先々では入札をすることがいいと

認識はしており、作業を見る限りではどこの業者がやってもきちんとできると思う。製作物があるので、そこから角だしをしていけば大きく現在までのものと変更があるとは思っていない。多少席が無くなって新しい場所に席ができるかもしれないが、それはお客様に席の振り替えの案内を行えば済むのではないかと考えている。見積りも入札も市民の皆様が納得いただけるような状況をつくるのが事業体の大事な役割だと思っている。

【D 委員】

事業体の言う通りである。コストアップが対外的にも説明しにくいところであったと思う。そこがブラックボックスになってきた部分だと思うので、入札等をしてあるべきコストを見える化して運営する。将来収益を上げるというのも大事だが、市役所前演舞場だけでなく全体的に足元のコストを下げていくということも同時でやっていただきたい。

【E 委員】

旅行業者のツアー客に配慮していただいている案である。現状、個人客とツアー客と一緒にシャトルバスで河川敷に移動し、自分のバスでそこから高松・琴平・淡路・神戸へ1時間から2時間かけて移動しているというのは非常にナンセンスである。おもてなしのかけらもない。ツアーバスの乗降場は是非作っていただきたい。

また、阿波おどり期間中はクルーズ船もたくさん来航しており、クルーズ船のエクスカーションバスに対しても同じような対応が必要だと思う。相当な台数になると思うので、全体の台数把握や時間管理などのオペレーションをする必要がある。これは重たい業務になるが、今のままではまずいと思う。

【委員長】

市役所前演舞場を廃止して、そこを観光バスの乗降場所にするというのは望ましいと、ただ、課題は生まれるだろうという意見でよいか。

【E 委員】

他にどこか近くで構えられる場所がないのか考えてみたが、なかなか難しいと思う。

【A 委員】

今の社会は車社会である。現在空き地になっている動物園跡地や文化センター跡地にバスを置くなど空スペースを利用できないのか。そうすることによって、お客様の回転数、旅行業者もツアーを組みやすく、シャトルバス料金も必要なくなる。今のままでは時間的ロスがある。お客さんにとっては、徳島に来たらお金がかかるというイメージが強いので、おもてなしの心を遺憾なく発揮する場所を考えていくことが必要である。

【B 委員】

市役所前演舞場廃止をして、観光バスが入ってくるという方向でいいと思っていたので、ぜひそうしていただきたい。

【A 委員】

ただ、大型バスなのでスペースが必要になる。地元住民と協議をした上で実現可能か判断していただきたい。実行委員会で決定したとしても、地元住民から苦情が出ると逆効果

になる。阿波おどりは徳島市内の方に応援していただき、また協力いただいて運営ができていますので、付帯する関係者にも十分説明が必要である。

【C 委員】

市役所前演舞場を廃止して、観光バスの乗降場を使用するというのは賛成である。あわぎんふれあい広場を車イスの方やベビーカーを使用している方の休憩所、そういったスペースが必要ではないかと思う。この一帯がバスと車イスとベビーカーに配慮した優しい場所になるのではないかと思うので提案には賛成である。

【委員長】

藍場浜演舞場や元町演舞場についてはどうか。藍場浜演舞場について、雑踏の分散という観点からの露店の一部を幸町公園に移設するとなっているが、市役所前演舞場の廃止に関連している。そういったところも含めて藍場浜演舞場、元町・新町橋演舞場について意見を伺いたい。

【A 委員】

踊る側からすると、非常に困っている演舞場は藍場浜演舞場である。藍場浜の入り口に露店が出ており、真ん中にトイレもあるため、入っていくときに混雑している。また、露店が出ているので衣装に匂いが染みつく。出口も同じであるが、北側だけに配置するなど露店の規模を小さくしていただきたい。

【委員長】

市役所前演舞場は廃止の方向の意見が多いが、市役所前演舞場のにぎわい作りのため藍場浜演舞場の露店を移設するという案については、市役所前演舞場を廃止したとしても幸町公園に露店を移設するのか。

【事業体】

バスの乗降を市役所前でするとなると、その周辺でにぎわいをつくるのはリスク大だと思う。藍場浜演舞場は栈敷が大きく醍醐味もあり、観光資源として一番高い場所だと思う。ただ、現状では露店がたくさん出ており、安全に通行できるかどうか、露店の設置位置が一部栈敷の中に入ってしまった店舗もあるので、万が一、ガスが爆発したりすると人身事故にも発展しかねない。まずは、安全・安心でしっかり踊りが見られる空間にすることが第一と考えている。その次に露店を移設するのが望ましいのであれば、どこに移転するのが望ましいのかを考える必要がある。例えば、市役所前演舞場廃止の意見が出なければ、露店を集めてにぎわいを創るということで考えようはあったが、意見を聞いた限りでは観光バスに対してどういう風なサービスを提供できるのか。日帰りバスで来られる方を増やさないと栈敷の集客が見込めなるといって露店の場所は別に考える必要がある。ただ、ここで結論を出そうとすると色々な問題があるので、警察や地域の商店街、道路を使用する周辺の方々との協議が必要になるので、時間をいただければと思う。

【D 委員】

去年の決算を見ると、市役所前の赤字は約 600 万円、紺屋町が 1,100 万円。ただ、市役所前がバス乗降場や露店とか、場所の利活用という面から廃止もあるのではという考えをされているが、今後、紺屋町演舞場が仕組みを変えることで良化していく見込みはあるのか。

【事業体】

紺屋町演舞場の設営費が高いのには理由がある。200 席程度の棧敷を交通規制が終わった後に外して通常の道路に戻す必要がある。この特別の構造をしていることによって演舞場に係る経費が大きくなっている。これを見直して、例えばその部分をなくして、そのかわり車イスやお子様が平場で観覧できるような空間にすれば、その設営費はなくなる。そこの使い方を、地域の方たちと相談して使えたらと考えている。逆に、踊っている最中に人が通行してしまったら大変なので、その制御の仕方も含めて課題ではある。

【D 委員】

1 つの演舞場の話が他の演舞場にも影響を与えるので、1 つにスポットを当てると全体が見えなくなる。

【事業体】

踊り手や阿波おどりそのもののコンテンツに焦点を当てて、それが観客に心地いい環境であるかというのが一番大事だと考えている。1 番に踊り手、次に観客ということが成立していないといけない。今の棧敷がそれに合わせた設計になっているかどうかをもう一度考えていきたい。

【A 委員】

藍場浜演舞場について、北側の入口は問題ないが南側の入口は出入りがしにくい。事故が起きていないからいいものの通路を広くとる必要がある。また、車イスの方は上に上がっていけないが、どのような対応をしているのか。

【事務局】

市役所前演舞場には、車イス用の座席を用意している。

【A 委員】

藍場浜演舞場が一番大きいので、そこに障害者に対するスペースを設けてあげる必要があるのではないか。入口についても、事故が起きてもおかしくないので、そういったところも対応していただきたい。

【C 委員】

全体として考えたときに、各演舞場の特徴に徹底的に差をつけることが必要だと思う。2 拍子調、パーカッションを中心とした連ばかりが踊り込むような演舞場やファミリー連れが靴を脱いで広場で座り込める席がたくさんあるような演舞場、しっとりとした有名連が踊り込む演舞場など、席の種類も踊っている連の種類が違う。それぞれの演舞場の特徴をつけて、全面的に打ち出していき、自分の観るスタイルによって演舞場を選ぶという方向性が必要でないかと思う。

【事業体】

それぞれの演舞場に特徴付けると、より魅力的な阿波おどりになっていくと思う。現在の4つの有料演舞場が3つに減ったとしても新たな個性が発見できれば、また増やしてもかまわないと考えている。今は少し減らしてコンパクトにまとめ、それぞれの演舞場の個性を際立たせる方がいい。来年一度に直せるか分からないが、紺屋町演舞場の移動栈敷の部分をどうするのか、市役所前演舞場も廃止するかどうか考えていく必要がある。また上演時間もしっかり見てもらう部分は2時間、2時間30分あってもいいと考えており、公園で踊る分には交通規制は関係ないので、南内町と藍場浜はしっかりと観てもらいたいと考えている。

また、開演時間が一斉である必要はなく、徐々にずれていくのも、ある意味での魅力かもしれない。お客様のライフスタイルに合わせて、どの時間がいいかを考えて買っていただくことが、全体としては上演時間が多くとれて、お客様が回遊するようになると考えている。

【B 委員】

チケットの販売地データが県内4割、県外6割と出ている。リピーターはたくさんいるとのことだが、それぞれの演舞場で売れているところと売れていないところがあるということは、どういう踊りになっているかを知っている人はいいところを選んで買っている。6割の県外の方は、どこの演舞場に行きたいと思って買っているのか。それとも、「阿波おどり」というものを観たいので、どこか空いているところを買っているのか。その辺りがはっきりしないので伺いたい。

【事業体】

お客様の反応を見ていると県外の方もよく阿波おどりのことを知っていると思う。例えば、藍場浜で観たいとか総踊りも観たいなど、県外が6割といっても県内に知り合いがいて買ってもらっているとか、祖父や祖母が徳島にいて息子家族が帰省した時にその分を買っていたりする。今年運営した感じでは阿波おどりのことをよく知っている方は多いと思う。

【委員長】

まずは、栈敷の部分を確認していきたい。特徴から栈敷を構成するという意見もあるが、提案の内容について意見いただきたい。

藍場浜演舞場の混雑解消のために、露店の一部を移設するというところに異論はないと思うが、出口付近に特別席を設けるということに対する意見はないか。

【D 委員】

この特別席は何人程度できるように想定しているのか。

【事業体】

スペシャリティー感を出したいので、席の幅を少し大きくして、将来は外国人の体格が大きい方でも観られるようにと考えている。100席から130席ぐらいが妥当な席数

だと考えており、それ以上上げると事故が起きかねないので安全運営できる範囲と考えている。

【A 委員】

過去に一番人気があったのは紺屋町演舞場であり、今よりも席数が多かったが樹木を植えた関係で狭くなった。なぜ藍場浜演舞場が人気があるのかというと、大きい栈敷であり、交通に非常に便利だからである。南内町演舞場の1部は別として、2部は阿波おどり振興協会14連による総踊りがあるので埋まっていたという経緯がある。1会場を廃止するのであれば、その客が他の演舞場に流れてくるので、ほかの3会場は多くの客が入ってくれるという気持ちがある。テコ入れするにあたっては、地域的なところも勘案しながら販売していくことも必要である。

【委員長】

A 委員に聞きたいのだが、出口付近に特別席を設置して両側に分けて捌けていくというような形になると思うが、それ自体は踊り手側としては、それほど支障はないのか。

【A 委員】

その案は良いと思う。

【委員長】

席数は今までよりも減るが、価値を高めてチケット代金は高くするという方向性でよいか。

【事業体】

図面を描いてみないとわからないが、今年NHKの8K映像を撮影するためにタワーを組んだが、その影響を見てもある程度席数を減らさずに設置できるのではないかと考えている。

【委員長】

今のようなイメージでとのことだが異論はないか。

(異論なし)

【委員長】

続いて新町橋演舞場を西新町おどり広場へ変更する提案があるが、意見あるか。

【A 委員】

以前に徳島市が昼間に阿波おどりをやったことがある。出発地点を何か所かに決めて、ぐるぐる回るような運用をして、見物人も非常に観やすく、目当ての連も見ることができる。東京高円寺は演舞場があまりないということもあるが。八の字に回っている。徳島は複雑な地形なのでなかなかできないと思うが、連の流れを表示することで、各演舞場がまんべんなく入ってもらえるのではないか。

【委員長】

色々特色のある演舞場という意味ではこういう形に変えることでメリハリがつくという部分もあると思うが、C委員はどうか。

【C 委員】

前回は提案したが、輪踊りを色んなところで観たい、輪踊りを観ながら参加したいという気持ちも強いと思う。輪踊りの広場をここに作るということに賛成である。

【委員長】

他の委員の方は特に意見はないか。

(意見なし)

【A 委員】

今年是新町橋演舞場の東側は踊り子が入って来ていたが、Uターンした西側は連が不足していた。東新町や両国本町に流れていく部分なので、観光協会が運営しているときから思っていたが、新町橋演舞場の西側の演舞場で座っている人は気の毒だと思っていた。お客さんはいるが連が足りない。それなりの連が踊り込んでいくと、お客さんに楽しんでもらえるがマイナーな連が踊り込むと徳島の踊りはこんなものなのかと観に来なくなることに繋がりがねない。

有料演舞場と無料演舞場に入るお客さんは元来考え方が全く違う。徳島の方は春夏秋冬阿波おどりが観えるので、お金まで出して観に行く必要はない。また、阿波おどりがマンネリ化しており、どこの連も同じことを毎年繰り返しているの、時代時代にマッチしたことをやることでお客さんも来てくれるのではないか。

また、今回優先連という名前を付けたが、これは自然な形の名前になり良かったと思う。組織に所属している連の中には必ずしもうまくない連もある。組織に所属していない立派な連もたくさんあるので、そういった連も掘り起こしをお願いしたい。

【D 委員】

元町と新町橋の演舞場を仮に廃止した場合に補助金収入は変更になるのか。

【事務局】

無料演舞場については両国本町演舞場にかなり大きい経費が掛かっている。また踊り広場にしたりしても警備員を置く必要がある。試算しなければわからないが、おそらく補助金が減ったりすることはないと考えている。

【D 委員】

補助金額は維持されて、コストだけが下がるようになるのか。

【事務局】

赤字幅が減っていくというイメージで良いかと思う。

【D 委員】

収支見込があるのであれば、この改革で良いと思う。

【委員長】

新町橋演舞場に関する提案についても大きな反対はないという理解でよいか。

(異議なし)

【委員長】

次に元町、新町橋、紺屋町賑わいの動線として新たに東新町商店街アーケードを東新町おどりロードと位置づけ設置するという提案について意見はあるか。また、新しい試みであるので、何かマイナス面があるのではないかという方向からの意見はあるか。

【A 委員】

東新町踊りロードって計画があるのか。

【事業体】

設置した方がいいのではないかという考えである。商店街振興は大事だと思っており、今年特に台風の時に踊って警察から指導された方もいたのもったいないと感じた。

【A 委員】

今年阿波おどりは14日、15日が中止だったが、とある連が踊っていたところ警察が来て指導された。私は警報が出たから中止だと思っていたが、道路使用許可を警察から阿波おどり期間中はもらっている。阿波おどりが中止になるということは、東新町も一般道路に戻るの、事件事故が起きたら困るという前提があったので警察の指導があった。警察の考え方もわかるが、県外から高いお金を払って踊りに来た人が雨が降っていても東新町では踊れる状態なので踊ってもらったら喜んでいただける。使用許可については雨が降ったとしてもアーケード内だけは残していただきたい。踊り子もルールを守って踊る必要がある。お酒が入って守らない者も出てくるので、費用面で警備の配置が必要となってくるが、これは徳島に来てもらった方に喜んでもらうことで将来に繋がっていくようになる。中止だからと言って全てを中止にするのではなく、許可をいただいた中で空きスペースなどを利用して運用していただけたらと思う。

また東新町の方から、ある連が銀座などを占拠して踊っており、付近住民から威圧的で怖いと苦情があった。できるのであれば、踊り子を上手く入替するような運用をしていただきたいと思う。

【委員長】

時間も限られているので議題を中心に意見を頂きたいと思う。A 委員はこの東新町に対する提案はどうか。

【A 委員】

賛成である。

【委員長】

他の委員も異論はない、むしろ賛成でいいか。

(異議なし)

次に開催時間についての提案が出ているが、この点について意見はどうか。

【A 委員】

前回の会議でも意見したが、開催時間については8時から8時30分はゴールデンタイムなので、入替をするのは7時30分からにしていただきたい。踊り子としては30分も待つのは士気が下がるので本当は1部制にしていただきたいと思っている。お

金儲けのために何で踊り子が利用されないといけないのか。盛り上がるのが祭りであって水を差されると踊り子みんなが感じている。お金のこともあり、どうしても2部制にするのであれば、開場時間を17時にしていただきたい。道路使用許可のこともあるが、公園内にある演舞場であれば問題ない。ただ公園に入っていく道のこともあるので、よく考えなければいけないところもある。8時から8時30分の入替だけはやめていただいて、入替をするのであれば7時30分から8時に行っていただきたい。踊り子はみんなそう思っており、踊り子があるから阿波おどりができている。そのことも認識をしていただきたいと思う。

【委員長】

事業体の具体的な提案としては公演時間の短縮プラス開演時間の前倒しというのがあり、19時15分から19時45分になっている。公演時間の短縮のみの案だと19時45分から20時15分が入替の時間帯になっている。今の意見は、20時をまたぐような入替を避けてほしいという趣旨でよいか。

【A委員】

踊り子の立場になって言っているが、逆にお客さんの立場に立ったとしてもそう思っているのではないかと考えている。

それともう1点、自由席については9時30分以降空いていたらオープンにするなど絶えずお客さんをいっぱいにしていきたい。踊り子からすると見てくれる人があるから一生懸命踊る。これ原点なので考えていただきたい。

【事業体】

開演時間を早めるのは、1部の団体観光客が見たい企業連が終わったところで夕食を取りに行くのでごそっと抜けてしまう。19時15分に終わればギリギリまで引っ張って19時30分からの夕食であれば時間的に大丈夫ではないかということも考えた。A委員の意見もわかるが、2部制があるから今の収支構造が成り立っているのも事実なので、全体が崩れてしまうのは我々としても意図しているわけではなく、できるだけ阿波おどりが観える機会が多い方がいいと考えている。ただ入替の時間について、気持ちは十分に分かるので、入替時間がずれていることでテンションが切れずに次の演舞場に着くころにはちょうどスタートできるということを考えている。

【A委員】

お金が関係しているので言いづらいことである。しかし、踊り子からしたら30分の待ち時間は苦痛であり、30分後に笑顔で踊り込んでいけるかというとなかなか踊り込んでいけない。1部制にしてほしいと希望は出せるが決定事項では全くない。ただ、そういった声が高いというのは事実である。できるだけそういう方向性になるように、また見てくれるお客さんを仕向けていくことも大事だと思う。

両国本町演舞場がなぜ人気があるかという、動かなくても踊りが観られるからである。おそらく最初から最後まで見る人はほとんどいないと思う。30分見たらもう嫌にな

ってくる。でも企業連が間に入るから次が見たくなる。優先連だけが踊り込んで来たら、同じ踊りをするので見たくなる。それは踊り手側にも問題がある。お客さんをお呼びするためにはどうしていくのかを考える必要がある。

【委員】

1部制がいいのではないかというのは前回でも出た意見なので事業体に伝えるとして、来年度すぐに1部制にして収支合わせるといのはおそらく無理だと思うので、2部制前提にどのような開催時間にするか意見を伺いたいと思う。

【D委員】

前回の会議で前倒しをする主旨として、県外からお客さんが例えば徳島から神戸に帰ってそこから電車で帰る時間の確保をという風に伺っていたが、一方でプラチナステージの終了時間が22時までというのは、県外から観光客をお呼び込むデメリットに繋がるのではないか。

【事業体】

しっかり見ていただくところはしっかり見ていただく場所で設けておいて、早く帰りたい方は早く帰れるようなスケジュールをもう一個立てておくつもりである。これは藍場浜演舞場だけのことを言っているので、それ以外の演舞場は1時間45分で切ってしまうと、特に紺屋町何かは交通規制の問題もかわせるようになり、周辺の店にも人が流れたいけると思う。そういう意味では近隣の商店街の振興になると思っている。

【D委員】

プラチナステージの内容はどのようなことを考えているのか。

【事業体】

簡単に言うと優先連をできるだけその演舞場に多く入れて見どころのいっぱいある演舞場にしようと考えている。今年は市役所前演舞場をそうしてみたが、思ったほど効果はでなかった。それは市役所前という離れた場所だから出なかったのか、我々も答えは出ていない。プラチナ時間帯というプログラムを作ってそこでしっかり見ていただいたらいいのではないか。そこで総踊りをしたいのであればしていただいてもいいし、別にやりたくなければ、優先連として出ていただければいいと思っている。しっかり見ていただくところは時間を多くとり、早く帰りたい人には早く終わる時間帯を提供する。色々な選択肢がある方がいいのではないかと考えた。

【A委員】

以前に市役所前演舞場の入りが悪いということで、県協会が合同で踊り込みをしたことがあったが、やはりダメであった。今の時代は有名連だから客が入ってくるわけでない。何か魅力あるものを皆が考えていかなければいけない時期に来ている。

【委員長】

基本的には公演時間の議論をしているが、プラチナステージやプログラムの関係についても合わせて意見いただければと思う。

【C 委員】

先ほど事業体も言っていたが、全演舞場が一齐に同じ時刻に始めて一齐に同じ時刻に終わるとする必要もなく、早く終わるところは早く終わればよいと思う。始めるのもある程度ずらして、早く帰りたい、早くバスに乗りたい方はそのプログラムで帰ればよくて、遅くまでしっかり見たい方は交通規制のかからないところでしっかりご覧になればいい。少しその辺は柔軟に対応するというので、全演舞場が早く終わることに持って行く必要がないと考える。

【委員長】

1部2部制にするにしても、入替の時間を別に揃える必要がないという意味なのか。

【C 委員】

入替はすればいいと思うが、各演舞場始まる時間と終わる時間はそれぞれでいいと思う。早く終わる演舞場は早く終わって早く帰りたい方はそれで帰ればよいという話である。全ての演舞場が9時30分に終わるようにする必要はないと思う。

【委員長】

プラチナステージに限らずというニュアンスである。公演時間やプラチナステージ、にわか連の体験プログラムについてE委員は何か意見はあるか。

【E 委員】

公演時間短縮プラス開演時間の1部17時30分にスタートして2部の終わりが21時30分の基本の時間をまだ前倒しの方がいいと思う。仮に17時スタートの21時終わりで、市役所前ですぐにバスに乗れたとしても21時30分に出て結局ホテルに着くのは23時くらいなので、さらに30分時間を早めた方がいいと思う。おそらく交通規制の問題が出てくると思うが、本気でやればできると思う。東京都内でマラソン大会ができるので、徳島でも交通規制はできると思う。これは事業体ではなくて市、県、県警にお願いしたいことである。プラチナステージで時間を延ばして遅くなるのは、その席を選ばなければいいだけなので良いと思う。

【B 委員】

提案が非常によくできており、私がイメージしていたのと良く似ていた提案である。だが、この開始時間については17時からが望ましいと思う。そもそもこの話が出たのはツアー客を対象にしたことで徳島のお祭りは他県に比べたらずいぶん長い。とにかく一見のツアー客をたくさん取っていくことが阿波おどりを衰退させない一番の方法なことなので、県外の客がこの阿波おどりにドンドン参加できるような方法を一番考えるところの提案については大賛成であるが、もう30分前倒しの方がいいと思う。

【事業体】

一つ心配していることがあって、踊り手は17時に集まれるのか。

【A 委員】

17時というのは暑いというのがあるが、見ている人はもっと暑い。踊り手はそのため

に練習してきているわけであるので、お客さんのことを最優先に考えたら、踊り子は我慢しないとイケない。

【B 委員】

暑いのはいいが、雪が降っている時に浴衣で平気で踊っている。踊り子はとにかく踊りたいので、少々暑いとかはおそらく平気だと思う。

【事業体】

我々が心配しているのは、お盆や土日であっても勤務される方もいるので全員が17時に集まれないので踊れないと言われると無理だと思い、とりあえず30分早めるというところで17時30分という案が出てきた。

【A 委員】

徳島の遠方から来られる人もいるので、時間の調整を聞いたことがあるが、調整は出来る、その点については問題ないとのことだった。なので、郡部から来られる方については全く問題ない。

【B 委員】

大学生から就職の時に意見を聞くが、阿波おどりをやっている人は、この会社は徳島の阿波おどりの時に休める会社かどうか確認してから就職するぐらいである。お盆に休みでなければ私行きたくないという学生が結構ある。優先連のメンバーは仕事より阿波おどりのほうが優先だと思う。

【事業体】

17時開始も検討していたが、地域住民が仕事から帰宅される時に交通規制がかかってしまうと交通規制内に居住されている方は帰れなくなるので17時30分ぐらいならば大丈夫ではないかと考えた。その辺りも含めて今後協議をしていかないといけない。

【A 委員】

まずは町内会長にこういった案があるがどうかと働きかけて、それで断られたら仕方ない、それはあくまでも地域住民が一番である。地域住民から阿波おどりだからといって我慢していると聞いたこともある。

【E 委員】

早く始まる分、その分早く終わる。

【A 委員】

県外から来られる方からすると1時間前倒しすることは来やすい。市役所の駐車場を使用できるのであれば、なお誘致しやすい。

【委員長】

基本的には前倒しプラス短縮が望ましいと、さらに前倒しするのがいいのではないかという意見が多いようである。事業体も気にしているように課題はあると思うので、そういった課題をクリアしていく必要はあると思う。暑いということもどう考えるか、何らかの対策が必要だとは思っている。

プラチナステージについても反対意見はないということによいか。

【A 委員】

両国橋の南側の道路がすごく混雑している。たまたま今問題が起きてないが、通行に支障をきたしているの、この点も考えていただきたい。

将来的には1部制も含めた運営を考えていただきたい。そのためにはどうすれば増収になるか考える必要がある。前回の会議でも意見したが、最初から最後まで見る人はいないので1万席あるのであれば、1万5000席販売してもいいと思う。お客様にも我慢してもらうことも大事であるし、お祭りは何もかもがすっきりいくようなことはない。

【委員長】

プログラム関係で体験型プログラムの拡充ということで、従来の2コースあるにわか連の演舞場の変更とともに特色づけを行うという提案がある。これは演舞場の特色づけをやっていくという意味では特に異論はないということによいか。

(異議なし)

次に踊り連関係について議論したいと思う。踊り連関係では、参加費の考え方、優先申込みが行うことができる連の基準、協賛枠の新設について提案が出ているが、この辺りについて意見をいただきたい。

【B 委員】

タレントと一緒に踊る連については優先連に入るような話があったと思うが、タレントと一緒に踊る連は協賛枠にあたるということなのか。

【事務局】

今年までは優先申込みの基準としてタレントを連れている企業連は優先連として申し込める基準があったが、事業体の意向としては、できるだけ阿波おどりの技量に着目していただきたい、タレントは別途申し込める枠を設けるといような設定になっていると聞いている。

【A 委員】

有名連から優先連に変更したことは非常に素晴らしいことであり、評価したいと思う。ただ問題は優先連としても、一番重要な定義は知名度がある、ファンがついていることである。また、踊り及び鳴り物技術が卓越していることも最低条件である。今年の基準については急場を凌ぐためには仕方なかったと思うが、同じ轍を踏むことは絶対に許されない。県協会と振興協会については素晴らしい技術を持っているが、あと一団体については非常にクレームが出ていた。その辺りをしっかりしなければ、観客を騙したことになる。今回は十分に吟味、調べた上で優先連を決めるべきである。組織に入っているだけで優先連としてしまうと技術がない連も優先連になってしまう。今年の阿波おどりで2つの連が1つの連として合同で踊り込んだことがあったと聞いたがこれは絶対にあってはいけないことである。1連で行動が出来ないのであれば最初から辞退すべきである。またそのことが判明した時に取り消すべきである。

また、総踊りの名称もできることであれば、阿波おどり振興協会14連による総踊りという名称に改めていただきたい。徳島の方は知っているが、県外の方は総踊りを阿波おどりと勘違いしているので、この辺りも明確にしていきたい。

それと政治力には屈しないでいただきたい。阿波おどりの世界には政治も宗教もない。踊りが好きな人だけが踊るのが阿波おどりである。

最後に企業連の事を言われているが、全ての企業連が悪いわけではない。企業でも一生懸命練習に取り組んでいる連もある。しかし、一夜漬けで来る企業連もあり、そういった連は確かに見苦しいものがある。そういった連を見ると一気に冷めるので、企業連を入れた後は優先連を3連、4連を続けて入れる配慮は必要かと思う。そうすれば企業連のイメージが悪くならない。阿波おどりは企業連も無ければ運営ができないと思う。県外から来た上手くない人もいるが、それをうまくコントロールしながらお客様を飽きさせない、嫌な思いをさせないというのは主催者に責任があると思う。

【委員長】

A 委員から知名度や技術などについての意見があったが、提案にある基準⑤その他主催者が特別に認めた連というのは別として、それ以外は客観的な基準であるし、A委員の意見にも近いものだと思う。他方で知名度や技術を誰かが判断するというのは難しい。事業体としての立場としても難しいところもあると思う。そういう意味で提案されている基準は客観的でわかりやすいと思う。

【A 委員】

基準の中の優先連と一緒に踊り連について、優先連の人数についての提案があるが、これは素晴らしい提案である。例えば100人の企業連に対して鳴り物と踊り子10人派遣してお金儲けをしている連があるので、この案は評価したいと思う。

【D 委員】

上手い連や鍛えられた連を見てみたいのが客の心情であるが、それは個人の主観、お客様それぞれ違うわけであるので、それをどのように測定するか、A委員の意見をルール化するのは難しい。ただ、ここにある基準はA委員が想定されている一生懸命練習をして魅せることができる連というのに該当してくるのではないかと思う。

【B 委員】

そもそも明確な基準があるわけでもなく完璧でなければいけないわけでもない。全体として踊り込んでくる連が観客から見てどうかと思う連が多く混じり込まないようにするためのものなので、オーディションをしてこの連だけっていうものでない。もっと曖昧でもいいと思うが、これぐらいの基準だったら十分だと思う。多少はどうかと思う連も混じり込んでくるかもしれないが、それも別にそんなに目くじら立てることではないと思う。

【A 委員】

踊りの世界は浮き沈みがあり、例えば今年は200人の連員がいたが、いざこざがあっ

て半分に分かれたら力も半分になる。逆に50人の連が一気に100人になり、技術が向上することもある。年々変わっていく要素があるのが阿波おどりでもある。

【事業体】

色々考えてこの5項目を提案した。基本的に4項目でもいいかと思ったが、A委員が言われたように毎年状況が変わっていく中で逆に主催者が、この連は入れておく必要がある、努力しているという情報があれば、その情報を頼りにチャンスをあげるという意味で5項目とした。A委員が言われた技術や知名度などもあるが、やはり努力をしていることがこの5条件の中の前提条件になると考えている。皆様の厳しい目を見ていただくことにより、来年に活かされていくと思う。

【委員長】

悩ましいところである。4項目全て拾いきれればいいが、それでは不安があるので5項目目も入れたということだが、5項目目を入れることによってA委員の意見のような政治力みたいなものが響いて主催者側が苦しい立場にたつようなことがないかとも思う。事業体としては5項目があった方がいいという意見のようである。

【事業体】

実行委員会に事業体からこういった連はどうかと推薦はするが、我々はコンサートや演劇をやりながらコンテンツの力しか評価しない会社なので、その辺は信じていただきたい。ただ、事業体が決定するのではなく、最終的に実行委員会が決定するようになる。多少でも救えるところも持っていなければいけないと考えている。

【委員長】

来年度についてはこの5項目で運営してみてもどうかということではよい。

(異議なし)

次に優先連の(2)から(5)について、意見どうか。先ほどと同じように柔軟に対応するという意味では仕方ないと考えるか、あまり余地を入れすぎると実際の判断の際に難しい面が出てくるのではないかという危惧を優先するという話かと思う。

【A委員】

最終決定は実行委員会になるということだが、実行委員会ではなく本来は阿波おどり事業を請け負っていただいている事業体が決定するべきである。実行委員会が決定して赤字が出れば事業体が被るのは筋が違う。原則としては事業体の者が実行委員会の委員長になるべきである。

【B委員】

前回の会議でその話をしている。事業体のフリーハンドで事業を行うべきであり、評価委員会の意見は参考にしてもらっただけだと言った。

先ほどの事業体の意見は、事業体が推薦する連を優先連として参加させるかどうか実行委員会に決めていただきたいという意味だったのか。

【事業体】

この連は非常に今年努力して挑戦している、これから成長していこうというところがあったとして、しかし、この4項目までの枠にはまだあてはまってないところを事業体が推薦して実行委員会が決定したものを出すということである。どこかでそういった救いの枠が必要だと考えており、多くの連を推薦することは考えていない。1連でもこれから伸びてくる連を推薦したいという気持ちである。その他に妙な意図はない。どこから政治的圧力が加かったからといって認めるようなことはしない。

【A 委員】

しっかりとした形でリーダーを取っていただくのが絶対原則だと思う。

【事業体】

事業体としては仕事を受けた以上黒字であれ、赤字であれ、甘んじて受けるだけの覚悟がある。約束は守るとというのが我々企業の考え方であり、この5年間の中で少しずつ色々な改善がされていけばいいと思っている。

【委員長】

優先連とそれ以外の優先申込みができる連の基準について、特段異論はないということによいか。

(異議なし)

次に協賛枠の新設について、協賛金を払っていただいてそれで優先的に踊り込みができるという枠であるが、ここについて意見はどうか。

【D 委員】

財源確保という意味では良いと思うが、A 委員が危惧されているお金だけ払って練習もせずに来る企業連がいるかもしれない。そういった連はお客様から見てもどうかと思うので、最低限のマナーとモラルを周知していく。そういうことを実施した上で成長していただくというプロセスを経て、長い目で見えていくことが必要ではないかと思う。

【委員長】

協賛枠の額も決まっていないようなので、その辺を含めて事業体にお任せするような流れでいいか。

【B 委員】

ある程度ビジネスであるので、ビジネスとして考えれば当然のことだと思う。

【C 委員】

社名を出して踊られるので、恥ずかしいことをするとその会社の信頼度が落ちるので、企業もわきまえられていると思う。

【B 委員】

上手いや下手など、多少はあると思うが、それはいいと思う。

【C 委員】

やはり会社の名前を出すので、そこは信用すればいいと思う。

【委員長】

大枠として異論なしという意見であると思う。

次に参加費についての提案が出ている。議論が長引くようだったら次回に持ち越すが、これについて意見はどうか。

【B 委員】

区分の中で市役所連や県庁連はどれに当たるのか。

【事務局】

その他の区分に入る。

【E 委員】

大企業と中小企業の線引きは従業員数になるのか。

【事業体】

従業員数100人以下や資本金1000万以下など色々考え方はあるが、漠然としていてまだ決められていない。

【D 委員】

例えば、資本金1億円以下の法人等を中小企業者と定める法律もあるが、それを持ってきたらどうなるのか。

【B 委員】

これは業種にもよる。

【D 委員】

法律によって定義が異なるので、実態として何が適切なのかっていうのを考えなければいけない。

【B 委員】

あらゆる業種で徳島県内で大企業の対象になるのは20社程度だと思う。他は全て中小企業だと思う。

【委員長】

むしろ、大企業になると協賛枠に申し込んでいただきたいということもあるのではな
いか。

【A 委員】

チケットの売れ行きが良くなれば、踊り連からはお金を出さなくてもいいという考え
方を持っている。昨年の有識者会議で、行政が運営する場合に税金を利用するのはいけな
いということで、参加費をいただくという提言をしたが、それが急遽民間委託が決まった。

民間企業はノウハウがあるので、参加費を取らなくても大丈夫であろうと思うが、前回
の有識者会議の流れがあるので協力してほしいというのであれば、これは従わざるをえ
ないと思う。

自分は絶対に参加費を出させたくない。自分を出してでも他の連には出させたくない
という気持ちである。

また、大企業と中小企業とあるが、線引きはどこですか。今は差別があってはなら

ない時代である。ここら辺のことでどういう風に考えられているのか聞きたい。

【事業体】

発展途上の会社や頑張っているところは救ってあげることが必要かもしれないというイメージであったので、明確な基準は決められていない。

【A 委員】

これを企業に見せた時に企業がどう思うのか。D 委員としてはどうか。

【D 委員】

B 委員も言われたように業種分類によって、資本金額等を定めている法律もある。また、資本金 1 億円以上の法人等を中小企業と定める法律もある。

【B 委員】

資本金 9 9 9 9 万円の企業で中小企業になっている企業もある。

【D 委員】

法律によって、中小企業の定義は異なる。

【A 委員】

NTT は大企業である。東京海上日動や日本生命も大企業かもしれない。しかし、徳島を見た限りは大企業と言えば、限られたとこしかない。大企業と言えば県外から来られる連もある。

【事業体】

事業体としてもまだ明確ではない。

【A 委員】

時間があまりないが企業連からもアンケートや聞き取りを行うことも大事だと思う。

実行委員会が張り付けした場合は無料となっているが、これはもともと 2 協会に 1 4 0 0 万円近い出演料を税金で払っていたことが発覚した話から来ている。高円寺では全部の連が参加費 5 万円を払っているが、その後で舞台に出演する連には参加費を返している。なので、全連から参加費をいただいて、その後張り付けを依頼した連については、事業体と交渉していただいて参加費を返すという方法が、回りくどいが一番誤解を招かない方法だと思う。2 協会が出演料を貰っていたこと、設営業者など全てが悪くて赤字になっていた。赤字だということが問題視されて参加費の話に変わってきた。表現をよく考えていただかなければ、参加費制度は転ぶことになる。

次に県外連の方は徳島の阿波おどりを聖地と呼んでいる。自分たちが全国各地の会場で踊る場合は招待であるが徳島に来る人は聖地だと思って来ている。徳島のイメージアップをするのであれば、県外連から参加費は無料にすべきだと思う。

それから、有料演舞場と無料演舞場の違いはある。藍場浜演舞場で踊るのに 3 0 0 0 円必要、新町橋演舞場で踊るのにも 3 0 0 0 円で必要であれば、どっちに行きたいかと言えば設備がいい藍場浜演舞場に行きたいと思うのは当然であり、反発が起こる。なので、有料演舞場で 3 0 0 0 円の参加費を取るのであれば、無料演舞場は 1 0 0 0 円まで下げる、

あるいは無料にすべきである。新町橋演舞場を例にすると、東側と西側を踊った場合に合計6000円になる。踊り子としたら出したくないが、1回1000円であれば出してもいいかと思うかもしれない。

【委員長】

大企業数と中小企業の線引きについて、それによって大企業数が少なくなるのであれば線引きが無くていいのではないかという発想も出てくるかもしれない。また、参加費についても今年度に比べてだいぶ金額を下げているが、理解を得られるかという話もある。

この議論が現在まとまっているとは言い難い。中途半端ではあるが時間を超過していることもあり、次回に持ち越したいと思う。

以上を持って第2回阿波おどり事業評価委員会を終了とする。